



「身近な出来事やイラスト」「テーマトーク」募集中!

ごほうび

自宅でも過ごす時間が増えた今、体を動かすことも考え、家の周りの草むしりを始めました。毎日30分だけの短い時間ですがこれなら長く続けられそうです。終わった後のコーヒーと甘い和菓子のセットが楽しみです。これが私の頑張ったごほうびです!

金沢市おとと

新しい挑戦

ロックミシンの講習を受けてから洋裁にはまっています。編み物は若い頃から好きで家族や自分のための作品などは数多くあります。普通のミシンは持っているのですがロックミシンの購入は迷いました。でも、年を重ねてから新し

いことに挑戦すると認知症防止になるようなので大いに活用して楽しみたいと思います。

金沢市ようよう



宝達志水町 つむ

ミツキヤロで育った息子たち

私が公務員として共働きをしていた38年間の約10年、生協には本当にお世話になりました。仕事、家事、育児と、ただただ忙しくあつたという間の38年間でした。ミツキヤロが2人の子供が大好きだった2人の息子たちも44歳と41歳。それぞれ温かい家庭を築いてくれています。孫も5人になり、日々の成長が私たち夫婦の生きがいになっています。

小松市ヒマワリパーバ

新聞スクラップ

最近新聞のスクラップにはまっています。1日1記事切り抜きをして、ノートに貼っています。子どもに関する記事だったり、家事のこと、新型コロナウイルスが落ち着いたら行ってみたいお店まで、さまざま記事を読み抜いています。朝、子どもが起きてくる前に新聞を読むのが毎日のルーティンになっています。

七尾市レモン好き

生協の配達員?

宅配を利用して20年以上経ちます。子どもが小さい頃、カタログの欲しいものにたくさん丸を付けていました。「おかしいな、なかなか届かない...」とつぶやく兄の様子を妹が私に教えてくれる、そんな微笑ましい記憶もありました。今では人数が減り、注文数も減りました。遠地の子どもたちからリクエストがあり、荷物に入れて送ることもあります。あれ、いつの間にか私が配達員になっている...?(笑)

能美市ばるお

夫婦2人の生活で

子どもたちもそれぞれが親になっています。今は夫婦2人の生活。何十年も台所をしていた私は主人にお願

誰かに話したい

みんなの広場に何回か載せてもらっていますが、いまだに誰にも話したことがなく、自分だけで1人楽しんでいます。そのうち、誰かに話したいのですが...

七尾市孫ばあちゃん

自転車

私は自転車に乗れません。幼い頃、転んで、それから自転車に乗れなくなりました。恥ずかしくて皆さんには秘密です。

金沢市あんず酒

ミケと私のナイショ

8月で1歳になる猫のミケちゃん。リビングで一緒に遊んでいたとき、ちょっとしたすき間からお父さんの部屋に逃げ込みました。大切にしていたラジコン飛行機やヘリコプターを上手にハードルのように飛び越えていましたが、飛行機の尾翼にミケの後ろ足が引っかかり、バリッと折れてしまいました。こりゃあアバイと思いき、ポンドで目いっぱい貼り付け、なんとか形になったので、ミケと



白山市 T・M



金沢市 オバハン

私の「実はナイショにしていること」となりました。

白山市美川のまやちゃん

今回のテーマトークのお題は「コーヒーにまつわるエピソード」



いして、今では朝食づくりはパス。主人はそれなりに喜んでやっています。サンドイッチ、トースト、チャーハン、サラダ、卵焼き、コーヒー、みそ汁。私は洗濯から始められます。朝食ができたときには落ち着いて食べられ、私の1日が始まります。

能美市チャコ

母の畑仕事に尊敬

母の畑の草刈り専門の私が、生まれて初めてうね作りとマルチがけをしました。うねはウネウネ(笑)、マルチはでこぼこ。改めて85歳の母を尊敬いたしました。

能登町おじやま

ママのために

おばあちゃんの仏壇を

母が亡くなってもうすぐ1年が経ちます。実家は県外のため、あまり顔を出さず訪れる度に仏壇にお参りをしていました。石川の家には遺影も仏壇も飾っていませんが、それを気にした4歳の娘が「ママのためにおばあちゃんとの絵を描いて仏壇を作ってあげる」と、紙と空き箱で作ってくれました。嬉しいのか、さみしいのか、悲しいのか、悼んでいるのか。久しぶりに泣いてしまいました。

野々市市こぐま

珍回答



機関紙モニターによるエッセイ

書き人 K・U

私は携帯で子どもの珍回答の投稿を見るのが大好きです。子どもの珍回答もさることながら、先生の一言やお母さんのコメントも「粋」だなあと感心しながらも大笑。他人事とお叱りを受けるかもしれないが学歴社会や殺伐とした時代だからこそ、子どもらしくていいなあとおツクリした思いになる。一例をあげると「マラカス」と答えなければいけないところ「マス増やし」「ウーマンボ」と書き、先生は「楽しいよね!!」とコメント。母は「プリノリヤんけ」と投稿。真面目であるべきと育った私には、ユーモアたっぷりの回答に三者の温かい笑顔が見えてくる。かわいいやら、おかしいやらで叱る気にもならないのではと想像する。そういえばわが家でも珍回答があったな。「石橋を一気に渡る」と答えた娘。「おおきい」の反対語を「いきおお」と書いた息子。余裕のない母は少し焦ったけれど今なら笑って「転ばないで」「本当に反対から読んだんだ」と。少しは粋な言い方をしてあげたいな。